

中学校第3学年 総合的な学習の時間 学習構想案

日 時：令和5年11月22日（水）第3・4校時
 場 所：体育館 他（グラウンド、教室）
 指導者：教諭 大坪 真斗・3年部職員

1 単元構想

単元名	地域学習と防災体験学習		
単元の目標	自分たちが住む地域のまちづくりや地域活性化，防災のために取り組んでいる人々や組織について調べる活動を通して， (1) 地域の特徴やまちづくり(防災)に携わる人々の思いに気付く。 (2) 地域のよさや課題，自分たちとの関わりについて考える。 (3) 地域のためにできることを考え行動する。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①地域のまちづくり，防災のための様々な取組とそれに携わる人々の思いがあることを理解している。 ②地域のよさや人々の思いをつかむために，目的に応じて情報を収集したりインタビューをしたりしている。 ③探究的に学習してきたことを元にした自分たちの自主的な関わりが，地域の活性化や防災に有効であることを理解している。	①地域のまちづくりや防災について，資源を生かした取組や，携わる人々の思いから，地域のよさや課題を明らかにしている。 ②地域の現状を捉えるために必要な情報について，手段を選択し多様な方法で収集している。 ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり，複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④地域の活性化や防災につながる取組について効果的に表現している。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して，自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。 ②地域のまちづくり，防災について体験活動などを通して，他者の考えを生かしながら，協働して問題解決に取り組もうとしている。 ③地域の活性化や防災のために自分たちにできることを企画し，実行することを通して，積極的に社会に参画しようとしている。
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
地域の特徴やまちづくり，防災に携わる人々の思いに気付き，地域のよさや課題，自分たちとの関わりについて考えるとともに，地域のためにできることを考え行動しようとする生徒			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
地域学習を通して、町づくりと自分の生活との関連を考え、地域のために自分ができること(公助意識)を発信しよう。		地域のまちづくりや防災に係る取組や人々の思いを多面的に捉え、地域に自分がどのように関わっていくのか、自己の取組や生き方について考えること。	
指導計画と評価計画（全35時間取扱い 本時 小単元②21・22／35）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一次	3	1【課題の設定】 ・地域の現状について防災の観点から予想し，友達と考えを交流する。 ・課題として挙げたものについて，具体的に調べる計画を立てる。	★【思①】(ワークシート・発言・行動観察) ・地域のまちづくりについて，資源を生かした取組や，携わる人々の思いから，地域のよさや課題を明らかにしている。 【知①】(ワークシート・行動観察)
二次	13	2【情報の収集】 ・防災の観点からグループの調査内容に応じて，関係機関やボランティア活動を行っている方などのまちづくりに携わる人々の話を聞く。	★【知②】(発言・行動観察) ・課題となることが聞き取れる質問をしている。 ★【思②】(発言・行動観察) ・情報の収集について多様な方法で行っている。 【態①】(ワークシート・発言・行動観察)
三次	6	3【整理・分析】 ・防災体験学習(避難所運営)を計画し，地域のために自分たちはどのようなことができるか考える。 ・企画したことを実行し，振り返りを行う。(本時)	★【思③】(ワークシート・発言) ・状況に応じてコミュニケーションをとりながら臨機応変に行動している。 【態②】(ワークシート・発言・行動観察) 【態③】(ワークシート・発言・行動観察)

四次	13	<p>4 【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動などをまとめ、後輩に向けてプレゼンテーションを行う。 <p>5 【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの取組を振り返る。 	<p>★【思④】(プレゼン・発言・行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化や防災につながる取組について、これまでの活動を、グラフや図、写真等を使って効果的に表現している。 <p>【知③】(ワークシート・発言・行動観察)</p>
----	----	---	---

2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所（内容・指導事項等）					
<p>中学校学習指導要領第1の目標を受け、設定された本校の目標「自立心にあふれ、夢の実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」をもとに、研究課題「主体的に判断し、安全なまちづくりに貢献できる生徒の育成」を目指す具体的な資質・能力を設定し、単元を構成している。</p>					
教材・題材の価値					
<p>本教材は、地域の取組や関係する人々の思いをもとに地域のまちづくり、防災について調べ、地域のよさに気づいたり課題の解決方法を考えたりすることに適している。また、自分たちはどのように地域に関わることができるか、企画・実行することを通して考えることに適している。</p>					
本単元における系統					
小単元①	【1年(自助)】地域の自然環境や環境問題とその保全に取り組む人々や組織及び防災学習を通して自助意識を高めよう。			小単元③	
	【2年(共助)】色々な職業とそれに関わる組織の取組と人々の思いや願い及び防災学習を通して共助意識を高めよう。				
	【3年(公助)】地域学習を通して、町づくりと自分の生活との関連を考え、地域のために自分ができること(公助意識)を発信しよう。				
	<p>高校調べを通して、自分の将来への展望を持ち、自分の進路を切り拓こう。</p>				
<p>進路学習を通して、3年間の振り返りをするとともに卒業後の生活に必要な社会性を身につけよう。</p>					
生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）					
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況（34名）					
調査内容		よく	まあまあ	あまり	ない
住んでいる地域でどのような災害が起こる可能性があるか知っていますか。		17人	16人	1人	0人
防災や減災のために、自分の行動について考えることがありますか。		5人	21人	6人	2人
もしもの災害を想定し、日頃から訓練や準備をすることは必要だと思いますか。		25人	9人	0人	0人
災害時は、自分だけでなく周囲の人と協力することが大切だと思いますか。		30人	4人	0人	0人
■本単元の学習に関する意識の状況（34名）					
調査内容		よく	まあまあ	あまり	ない
住んでいる地域で、避難所はどこか知っていますか。		33人	0人	0人	1人
避難所に避難したことがありますか。		14人	0人	0人	20人
避難所ではどのようなことをするか知っていますか。		6人	14人	11人	3人
避難所で過ごすことになった場合、自分はどうなことができるか考えたことはありますか。		5人	18人	10人	1人
■考察					
<p>(資質・能力に関して)これまでの学習から防災に関する知識は身につけている。しかし、それを自分ごととして考えられていない生徒も一部見られる。災害を自分ごととして意識できるよう、避難所運営を通して実感する必要がある。</p> <p>(学びに関して)地域の避難所の場所は把握しているものの、そこでの行動までは想像ができていない。避難所での生活を経験している生徒もいるので、経験者と避難所運営体験やそれまでの学習を通して、より自分ごととして捉えられるような学習が必要である。</p>					

3 指導に当たっての留意点

- 外部人材の活用の際して、本単元で育成する資質・能力等について、事前に講師と共有しておくようにする。
- 協働的な学習の充実のため、思考ツールを積極的に活用する。
- 他者の発言や作品等のよさに気付き、学ぼうとする態度を育てる。

4 学習の展開案

① 避難所運営体験の事前学習

(1) 目標 避難所運営体験に向けて、ゲームを通して、どのようなことに留意すると良いか気付き考える。

(2) 展開 (2時間)

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	1 課題をつかむ。 ①過去の避難所の映像を見る。 ②本時の学習課題を確認する。	○避難所の様子を想起させる。 ○単元のゴールを確かめ、単元計画から本時のめあてを設定する。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【めあて】 避難所運営を行う場合に、必要な準備物や行動・心構えなどについて考えよう。 </div> ③避難所運営を円滑に行うための視点について問いをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【学習課題】 避難所運営を円滑に行うためには、どんなことを準備しておくが良いだろうか。 </div>	○実際に避難所運営を行うならばどうしたら良いか考えさせる。
展開	5分	2 課題の解決に向けて活動する。 ①避難所運営ゲームのルールを確認する。	○ルールの説明をする。 ○役割分担等をする。 ※カードの枚数や条件などについては、生徒の状況によって加減する。
	20分	②避難所運営ゲームを行う。	○困った時には誰かに相談するように指示をしておく。また、そのことをメモするなりしてとどめておくように指示しておく。
	20分	③避難所運営ゲームを振り返る。 (1)うまくいかなかった点や困った点をグループ内で出し合う。 (2)(1)で出た意見を全体に発表し共有する。 (3)(2)で出たうまくいかなかった点や困った点について、改善点などをグループで話し合う。 (4)(3)で出た意見を発表し全体で共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【期待される学びの姿】 避難者の立場に立って物事を考え、他者の意見を取り入れながら、意欲的に話し合っている。 </div>	○困ったことなどを出し合わせる。 ○課題点に対して、次に活かすことができるように考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【具体の評価規準】 態② 状況に応じてコミュニケーションをとりながら課題解決に取り組もうとしている。 (方法:ワークシート・発言・行動観察) 評価者は、3年部職員 </div>
15分	④③をもとにゲームを再開する。 ⑤避難所運営体験を振り返る。	<到達していない生徒への手立て> ○友達の意見を聞いてよいと思った視点について発表を促す。	
終末	10分	3 学習課題に対する生徒たちの答えをまとめる。	○めあてや課題と照らして行い、課題解決の方法や学習内容をまとめる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【まとめ】 災害を想定して、できる限り必要と思われるものを準備しておく。 </div>	
	15分	4 芦北町危機管理官の話を聞く。	○今回のゲームを想起しながら防災課の方の話を聞き、本番に向けてイメージを膨らませる。
	5分	5 めあてに対する振り返りをする。	○本時の学びの成果や課題とその要因、課題の改善方法等を共有する。 ○自らの学びを調整したり、新たな問いを設定したりするなど、振り返りを具体的に行う。

【板書計画】

【めあて】避難所運営を行う場合に、必要な準備物や行動・心構えなどについて考えよう。

学習課題

避難所運営を円滑に行うためには、どんなことを準備しておくといいだろうか。

《避難所運営体験》

避難所運営ゲームの大まかな指示

避難所運営ゲームの指示カード

○うまくいかなかった点・困った点

・(生徒の意見(班ごとに))

・

・

【まとめ】

災害を想定して、被災者の立場に立ってできる限り必要と思われるものを準備しておく。

〈心構え〉被災者の立場に立って。被災者もさまざまがいる。

〈準備物〉役割分担をする。駐車場の準備。受付の準備。会場で必要なもの。ホワイトボード, 毛布, 仕切り。

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画, ICT を活用した発表, まとめ等による考えの共有の計画等

- 場合に応じて、調べ物をしたり、意見をメモしたり情報をやりとり、共有できるようにする。
- カメラ機能を使って、視覚的に記録をしておく。

【避難所運営ゲームの進め方】

1 はじめに

避難所で避難者が安心して過ごすために必要な配慮について、話し合いながら学んでいくゲームです。次の2点について心がけてください。

- ① 友達の意見を否定しない。 ② 考えの違いを認めること。

【想定】(水害)が発生しました。たくさんの人々が学校の体育館に避難し始めています。あなたたちは、地域住民として避難してきた人たちを体育館に案内しなければいけません。

避難してきた人をより良い場所に案内するために、どうしたら良いか班で話し合いながら進めていきましょう。

2 体育館の配置図を作る (広用紙・マジックペン・付箋紙)

※広用紙に体育館の配置図を印刷しておく。

- ① 体育館の配置図を確認してください。皆さんがまずやることは、「出入口」と「受付」を作ることです。まず「出入口」を作ってください。次に、付箋紙に「受付」と書いて、受付をするのに適した場所を話し合っ決めて、広用紙に貼ってください。

※ 班での話し合いへの指導

机間支援をしながら、受付を配置した理由を聞き、根拠を持つことの大切さや違った考え方があることに気づかせる。

- ② 「受付」だけでも色々なアイデアがありますね。次に、マジックペンで「通路」を作ります。また、「受付」以外に「必要なスペース」があると判断したら、付箋紙に書いて体育館に設置してください。

※ より良い方法を見つけていくためには、グループで意見を出し合いながら、伝え合うことが大切であることに気づかせる。このことを、避難者カードを配置する学習にもつなげていきます。

- ③ いよいよ避難者を受け入れます。「避難者カード」と「ライフカード」の2つを使います。

「避難者カード」には、名前・住所・年齢など、その人の情報が書かれています。

また「ライフカード」には、おにぎり・粉ミルクなどの支援物資が書かれています。

先生が順番にカードの情報を読み上げていくので、班で話し合いながらより良い場所に避難者を案内してください。

例) ネギさん3人家族をどこに案内するか話し合ってください。ネギさんの娘さんには、食物アレルギーがありますね。どこに案内しますか？これから色々な人がやってくることを想像して話し合みましょう。

次はレンコンさんです。レンコンさんは、防災型コミュニティー・スクール住民代表です。何かお願いできそうですね。どこに案内しますか？

※ 避難者カードに示されている情報について、話し合いの視点を与えながら進めていく。避難者カードは番号順に提示していく。

※ 生徒が、避難者の状況をイメージできない場合には、避難者が抱える「困り感」を伝える。

※ 「ライフカード」はおにぎり10個です。誰に渡しますか？渡す相手を話し合っ、避難者カードの下に記号を書き込みましょう。

- ④ 今日は、色々なことについて話し合いましたが、「こうしなければいけない」といった正解はありません。皆さんがそれぞれの立場で考え、学んだことを今後の生活に活かしていくことが大切です。

避難所は、地域そのものでもあります。日頃から地域の人々と関わりを持ち、地域の人を理解しておくことが災害発生時にも大きな力となります。《まとめ》

※ 考えを出し合い、より良い方法を見つけることが目的です。話し合う時間を十分に確保してください。そのため、カードを使い切る必要はありません。

② 避難所運営体験の事前学習（準備編）

(1) 目標 避難所運営体験に向けて、ゲーム学習の経験を活かして、どのような準備が必要か考える。

(2) 展開（2時間）

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>①前時の学習を振り返る。 ②本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】 避難所運営を行う場合に、必要な準備物や行動・心構えなどについて考えよう。</p> </div> <p>③避難所運営を円滑に行うための視点について問いをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】 避難所運営を円滑に行うためには、どんなことを準備しておくと良いだろうか。</p> </div>	<p>○前時のワークシートやゲームで使った体育館の見取り図を見直す。 ○単元のゴールを確かめ、単元計画から本時のめあてを設定する。</p> <p>○実際に避難所運営を行うならばどうしたら良いか考えさせる。</p>
展開	<p>10分</p> <p>10分</p> <p>5分</p> <p>15分</p> <p>40分</p>	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①避難所を設営した際にどのようなことが想定されるか考える。 (1)前時の学習をもとに個人で考える。 (2)(1)で出した意見をグループで出し合う。 (3)グループの意見を全体で共有する。</p> <p>②運営に必要な役割を考える。 (1)前時のワークシートをもとに個人で考える。 (2)(1)で出した意見をグループで出し合う。 (3)グループの意見を全体で共有する。</p> <p>③役割分担をする。</p> <p>④準備物や確認事項を共有する。 (1)グループで準備物や確認事項を出し合う。 (2)全体で共有する。</p> <p>⑤準備物の用意や確認作業を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 前時の学習を生かして、他者の意見を取り入れながら、意欲的に話し合ったり準備したりしている。</p> </div>	<p>○ゲームの経験をもとに、発生しそうな状況を想定させる。</p> <p>○①について、運営を円滑にするために必要な役割を想定させる。 ○生徒から教師側で必要だと思われる役割が出なかった場合は、教師側から提案する。 ○グループごとに、どの役割を担うか決めさせる。 ○考えられる限りの準備や確認事項を共有させる。</p> <p>○必要なものの準備やどこに何があるかの確認をそれぞれ行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体の評価規準】 態③ 防災のために自分たちにできることを企画しようとしている。 (方法:ワークシート・発言・行動観察)</p> </div> <p><到達していない生徒への手立て> ○友達の見聞を聞く。</p>
終末	10分	<p>3 学習課題に対する生徒たちの答えをまとめ、めあてに対する振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 自分たちの経験を共有し合うと、様々な視点から考えることができる。</p> </div>	<p>○めあてや課題と照らして行い、課題解決の方法や学習内容をまとめる。</p> <p>○本時の学びの成果や課題とその要因、課題の改善方法等を共有する。 ○自らの学びを調整したり、新たな問いを設定したりするなど、振り返りを具体的に行う。</p>

【板書計画】

【めあて】避難所運営を行う場合に、必要な準備物や行動・心構えなどについて考えよう。

学習課題

避難所運営を円滑に行うためには、どんなことを準備しておくと良いだろうか。

《避難所運営の状況設定》

○水害

○一般人として活動

○避難所…湯浦中学校体育館

○避難所運営ゲームを通して想定されること
〈被害〉

・(生徒の意見)

〈人〉

・(生徒の意見)

〈その他〉

・(生徒の意見)

○役割分担

・(生徒の意見)

【まとめ】

自分たちの経験を共有し合うと、様々な視点から考えることができる。

受付・避難場所・誘導・放送・通訳・救護場所・物資の管理

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

○ 場合に応じて，調べ物をしたり，意見をメモしたり情報をやりとり，共有できるようにする。

○ カメラ機能を使って，視覚的に記録をしておく。

③ 避難所運営体験（運営編）

(1) 目標 避難所運営体験を通して、日頃から防災や減災に関心を持っておくことの重要性に気付くとともに協力して考え、行動して避難所を運営する力を身につける。

(2) 展開（2時間） 本時

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ。 ①本時の学習課題を確認する。</p> <p>【めあて】 計画通りに運営できるか、実際に避難所を運営してみよう。</p> <p>②避難所運営を円滑に行うための視点について問いをもつ。</p> <p>【学習課題】 避難所運営を円滑に行うためには、どのようなことに留意する必要があるだろうか。</p>	<p>○前時までの学習を振り返る。 ○単元のゴールを確かめ、単元計画から本時のめあてを設定する。</p> <p>○どのような視点で取り組むと円滑に運営できるか考えさせる。</p>
展開	45分 40分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。 ①グループ内外で役割の確認をする。</p> <p>②避難者及びライフカードを用いながら実際に避難所の運営を行う。</p> <p>③避難所運営体験を振り返る。 (1)うまくいった点とうまくいかなかった点や困った点をグループ内で出し合う。 (2)(1)で出た意見を全体に発表し共有する。 (3)避難者役の方にインタビューする。 (4)(2)(3)で出たうまくいかなかった点や困った点、インタビューについて、どのようにするとよかったかグループで話し合う。 (4)(3)で出た意見を発表し全体で共有する。</p> <p>【期待される学びの姿】 避難者の立場に立って物事を考え、他者の意見を取り入れながら、意欲的に話し合っている。</p>	<p>○前時までに決めていたグループ内で役割の確認を行う。また、グループごとでもリーダーが役割の確認をする。</p> <p>○確認した役割で実際に動いていく。 ○困った時には誰かに相談するように指示をしておく。また、そのことをメモしてとどめておくように指示しておく。</p> <p>○良かった点と課題点それぞれの視点で振り返らせる。</p> <p>○様々な立場の視点で考えられるようにする。 ○課題点に対して、次に活かすことができるように考えさせる。</p> <p>【具体の評価規準】 思③ 避難所を円滑に運営するために、コミュニケーションをとりながら解決に向けて考えている。(方法:ワークシート・発言・行動観察) 評価者は、3年部職員</p> <p><到達していない生徒への手立て> ○友達の見聞を聞いてよいと思った視点について発表を促す。</p>
終末	10分	<p>3 学習課題に対する生徒たちの答えをまとめ、めあてに対する振り返りをする。</p> <p>【まとめ】 普段から防災や減災の視点を持って生活しておくことが大事である。また、避難所運営を行う際は、避難者の立場に立って仲間と協力して取り組むことが大事である。</p>	<p>○めあてや課題と照らして行い、課題解決の方法や学習内容をまとめる。</p> <p>○本時の学びの成果や課題とその要因、課題の改善方法等を共有する。 ○自らの学びを調整したり、新たな問いを設定したりするなど、振り返りを具体的にを行う。</p>

【板書計画】

【めあて】

計画通りに運営できるか、実際に避難所を運営してみよう。

避難所運営を円滑に行うためには、どのようなことに留意する必要があるだろうか。

〈受付〉

・(生徒の意見)

〈誘導〉

・(生徒の意見)

〈会場設営〉

・(生徒の意見)

〈駐車場〉

・(生徒の意見)

【まとめ】

普段から防災や減災の視点を持って生活しておくことが大事である。また、避難所運営を行う際は、避難者の立場に立って仲間と協力して取り組むことが大事である。

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

- 場合に応じて，調べ物をしたり，意見をメモしたり情報をやりとり，共有できるようにする。
- カメラ機能を使って，視覚的に記録をしておく。